

2025年度

## ロシア地域学科

### 4年生 シラバス

#### 目次

実務経験のある 教員	科目名	担当者名	ページ
	実用ロシア語会話	イリイナ・ソフィア	1
☆	実用ロシア語文法(前期)	イリイン・ロマン	2
☆	実用ロシア語文法(後期)	デルカーチ・フョードル	3
☆	ロシア語リスニング	イリイナ・タチヤーナ	4
	ロシア語講読	イリイナ・ソフィア	5
☆	通訳翻訳演習	イリイン・ロマン	6-7
	英語	ウィリアムズ・マイケル	8
	ロシア文学史	スレイメノヴァ・アイーダ	9
	哲学	倉田 有佳	10
	体育	小林 礼	11
	ゼミナール ビジネスロシア語	プラーソル・アレクサンドル	12
	論文作成	倉田 有佳	13

科目名	実用ロシア語会話	担当教員	イリイナ・ソフィア
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（15週）・後期（20週）		
時間数	前期60時間（週2コマ）・後期120時間（週3コマ）総180時間		
授業概要・学習到達目標			
高度なロシア語による会話・筆記ができるようにする。			
学習上の留意点			
高度なロシア語会話を聴き取れるようにする。現代ロシア語文章を読み書きができるようにする。日常生活・政治・ビジネス・文学など様々なテーマでの会話をできるようにする。			
評価方法			
小テスト、中間テスト、期末試験、年末試験			

授業計画・内容	
<b>【前期】</b>	
1～10	第15課 テキスト(«Не всё коту масленица», «Без труда не вынешь и рыбку из пруда», «Люба сердится, злится, выходит из себя», «Учёный-энциклопедист», «Первые российские высшие учебные заведения»)動詞の完了体と不完了体、関係代名詞、形容詞の短語尾形
11～20	第16課 言葉を覚え、使い方の練習をする。(各課共通) テキスト(«Прогулка по Тверской», «Немного о Петербурге», «Рассказ Петры», «Рассказ Карлоса об экскурсии в Кремль», «О лицее и лицеистах») 会話の練習(各課共通)、定動詞と不定動詞の活用
21～30	第17課 テキスト(«Рецепт врача», «Учитель и судья», «Последняя квартира А.С. Пушкина», «Маша и медведь») 定動詞と不定動詞、接頭辞の活用、集合数詞の活用
<b>【後期】</b>	
1～15	第18課 テキスト(«М.В. Ломоносов и «Российская грамматика», «Учитель учителей», «Семья Рубиных», «Новое платье короля», «Замоскворечье») 名詞の語結合、再帰動詞、否定代名詞
16～28	第19課 テキスト(«Олимпийские игры», «Дом-музей Чайковского в Клину», «Почему Америка названа Америкой») 能動形動詞と被動形動詞、形動詞構文 日常生活・政治・ビジネス・文学など様々なテーマでの会話をできるようにする。
29～40	第20課 テキスト(«Разрушенная Герника», «О Петре Великом», «Первый международный конкурс имени П.И. Чайковского», «Из истории Олимпийских игр») 主格と体格の関係、能動態および受動態、不定人称文、短語尾形
41～50	第21課 テキスト(«Гибель Архимеда», «XX век», «О И.А. Гончарове») 副動詞
51～60	第22課 テキスト(«Беседа с академиком В.И. Вернадским», «Вечер исполненных и неисполненных желаний», «Аристократка», «Чувство собственного достоинства», «Пётр Ильич Чайковский», «О В.И. Вернадском») 副動詞
教科書・参考書・資料・参考文献	
「ロシア語の新しい習い方」(第2・3部)ズラトウスト出版社・2000年発行 プリント配布	
「ロシア語の新しい習い方」(第2・3部)対応基本語彙集	

科目名	実用ロシア語文法	担当教員	イリイン・ロマン
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（15週）		
時間数	前期60時間（週2コマ） 総64時間		
授業概要・学習到達目標			
より高度なロシア語の文法を学ぶ。同時により複雑な語彙、表現法、構文やロシア語のスタイルスティックスを学び、ТРКИ 2級合格、国家試験（卒業試験）の合格を目指す。			
学習上の留意点			
辞書等を用い意欲的かつ自覚的に学習にあたること。			
評価方法			
各課テストと前期期末試験			

## 授業計画・内容

【前期】	
1	ガイドンス
2～4	能動と受動構造（不完了体）
5～7	能動と受動構造（完了体）
8～9	能動形動詞（現在形・過去形）
10～11	被動形動詞（現在形・過去形）
12～13	-ся 動詞
14～16	運動動詞定動詞、運動動詞不定動詞
17～19	接頭辞付き運動動詞（自動詞）、接頭辞付き運動動詞（完了）、接頭辞付き運動動詞（他動詞）
20	接頭辞付き運動動詞（不完了）
21	動詞の体。完了体・不完了体の不定形の用法
22	完了体・不完了体の否定文
23	完了体・不完了体の命令形
24	単文と複文における完了体・不完了体の用法
25～26	完了体・不完了体の接頭辞の用法
27～28	副動詞
29	因果関係を表す表現
30	譲歩構文、条件法
教科書・参考書・資料・参考文献	
Продолжаем изучать русский ロシア語出版社 2003 年 「ロシア語の新しい習い方」（第2・3部）ズラトウスト出版社 2000 年 配布プリント	

科目名	実用ロシア語文法	担当教員	デルカーチ・フォードル
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	後期（20週）		
時間数	後期80時間（週2コマ） 総80時間		
授業概要・学習到達目標			
以前に習ったロシア語の知識を活かして、造語と構文をより深く、ニュアンスに集中して学ぶ。 ТРКИ 2級合格、国家試験（卒業試験）の合格を目指す。			
評価方法			
各課テストと前期期末試験			

## 授業計画・内容

【後期】	
1	第一部 レッスン① 運動を表す形態素、読解練習
2～3	レッスン① 自動詞に集中する練習問題、ドリル
4	レッスン① 他動詞に集中する練習問題、ドリル
5	レッスン② 意識と思考プロセスを表す形態素
6	レッスン② コミュニケーションを表す形態素、読解練習
7	レッスン② コミュニケーションを表す動詞に集中する練習問題
8	レッスン② 追加：動作の開始／余裕を表す「за-」
9	レッスン③ 生理的プロセスを表す形態素、練習問題
10	レッスン③ 接尾辞「-ива-／-ыва-」
11～14	レッスン③の小テスト。レッスン④ 保有を表す形態素、造語練習問題
15～18	レッスン④ 読解練習
19	レッスン⑤ 物理的作用を表す、造語練習問題、読解練習
20～21	レッスン⑥ 空間的な位置・状態を表す形態素、造語・読解の練習
22	レッスン⑦ 形態素「-образ-」、「-спе-」、「-бы-」、「-сущ-」、「-пуск-」
23	レッスン⑦ 造語・読解の練習、小テスト
24～26	第二部 レッスン① ロシア語で「程度を」を表す。「сколько」と「столько」
27～28	レッスン① 「高まる程度」を表す「чем..., тем...」。「～にも関わらず」を表す「тем не менее; несмотря; и всё же; при этом」等
29	レッスン① 「できるだけ」を表す「как можно」。 レッスン② 生格形使用のニュアンス：語尾の「-ей」、前置詞「без」。接頭辞として使われる「БЕЗ」
30～31	レッスン③ 状況と行動の対立、接続詞「хотя」、前置詞「несмотря на, вопреки, наперекор, в пику」等。
32～33	レッスン③ 「時間と順番」。早い相次ぎを表す「как только, едва, стоило, и тут же」等。「同時発生」を表す「одновременно с; вместе с」等。「時点」を「ところ」で表す「тут, здесь, тут же」等。
34～35	レッスン④ 「必要性、不可欠さ、必須」を表す「нужно, следует, положено, приходится, вынужден」等。
36～38	レッスン⑤ 「時間枠」を表す「в течение, во время, во времена, в пору, в моменты」。時点を表す接頭辞「при」。時間を表す「пока; покуда; в то время, как」等。「限界」を表す「пока не; покуда не; до тех пор, пока не」等。
39	レッスン⑥ 質問の正しい作り方、短文と複文で構成される疑問文。疑問文の文体。
40	レッスン⑥ 短い返事をするコツ。小テスト。
教科書・参考書・資料・参考文献	
第一部：F・デルカーチ「Основные глагольные корни русского языка／ロシア語動詞の基礎的な語根」、函館、2025	
第二部：F・デルカーチ「ТЫСЯЧА МЕЛОЧЕЙ – нюансы русской грамматики／ことばの小間物屋（ロシア語文法のニュアンス）」函館、2025	

科目名	ロシア語リスニング	担当教員	イリイナ・タチヤーナ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（15週）・後期（20週）		
時間数	前期30時間（週1コマ）・後期40時間（週1コマ）総70時間		
授業概要・学習到達目標			
ソ連時代の有名なアニメーションやコメディショー番組を見て聴き取りを行い、ロシア語の聴取力を培う。さらに翻訳を試み、同時に、幅広い語彙や独特の表現法を学ぶことでロシア語の総合的な運用能力を高める。			
評価方法			
テキストの暗記とテスト。試験、小テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1-4	コメディショーУральские пельмени(家族について)
5-13	コメディショーУральские пельмени(家族のスキャンダル)
14	語彙の復習
15	テスト
【後期】	
1-9	ソ連時代の有名なアニメ（Трое из Простоквашино 1）
10	テスト
11-19	ソ連時代の有名なアニメ（Трое из Простоквашино 2）
20	卒業試験のための総復習
教科書・参考書・資料・参考文献	
随時プリントを配布する。	

科目名	ロシア語講読	担当教員	イリイナ・ソフィア
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（15週）・後期（20週）		
時間数	前期30時間（週1コマ）・後期40時間（週1コマ）総70時間		
授業概要・学習到達目標			
前学年の「ロシア語講読」に引き続き、教科書を用いて、まとまったテキストを正確に読解して、語彙の増強とともに、コミュニケーション能力育成の観点から、内容に関する質疑応答ができ、ロシア語力を向上させることを目指す。			
学習上の留意点			
1. テキストの読解を意識して授業を進める。 2. 新しい語彙・文法を使いつつ、質問事項には自分の意見を盛り込んで答えること。			
評価方法			
試験、テストの結果と出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
【前期】	
1～3	テキスト1《対照的な人間》
4～5	テキスト2《アルフレッド・ノーベルとノーベル賞》
6～7	テキスト3《ノーベル賞を受賞する方法》
8	テスト1
9～10	テキスト4《秋の出会い》
11～13	テキスト5《克服》
14～15	テキスト6《ドミトリ・メンデレーエフ》
【後期】	
1～2	テキスト7《緑の十字架》
3～4	テキスト8《学者の見解》
5～6	テキスト9《愛と科学》
7	テスト1
8～9	テキスト10《ヴェルディの音楽》
10～11	テキスト11《1cc分の希望》
12～13	テキスト12《チャーホフ》
14	テスト2
15～20	フョードル・M・ドストエフスキー《白夜》
教科書・参考書・資料・参考文献	
ツァリョーバ他著 「ロシア語の勉強を続けましょう！」 ロシア語社発行、2002年 フョードル・M・ドストエフスキー《白夜》	

科目名	通訳翻訳演習	担当教員	イリイン・ロマン
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（15週）・後期（20週）		
時間数	前期60時間（週2コマ）・後期80時間（週2コマ） 総140時間		
授業概要・学習到達目標			
前学年の「通訳翻訳の演習」に引き続き、ロシア語への訳出に求められる必要な知識、文法、用語を習得するため、日本語のテキストをロシア語に翻訳し、ロシアのビデオニュースを聞き、通訳・翻訳の学習を行う。			
評価方法			
試験、テストと出席率、授業態度、提出物等すべての項目を評価に含んだ総合評価形式とする。			

授業計画・内容	
<b>【前期】</b>	
1	ガイダンス
2～4	第27課 テキスト「ロシアとウラジオストクの開放」＜ロシア語訳＞
5	ロシアのビデオニュースの通訳 ＜日本語訳＞
6～7	第28課 テキスト「サンボの歴史の忘れられたページ」＜ロシア語訳＞
8	ロシアのビデオニュースの通訳 ＜日本語訳＞
9～10	第29課 テキスト「ロシアのサンボの父」＜ロシア語訳＞
11	ロシアのビデオニュースの通訳 ＜日本語訳＞
12～13	第30課 テキスト「友好の船」＜ロシア語訳＞
14	ロシアのビデオニュースの通訳 ＜日本語訳＞
15～17	第31課 テキスト「日露交流の3隻の「希望」＜ロシア語訳＞
18	ロシアのビデオニュースの通訳 ＜日本語訳＞
19～21	第32課 テキスト Что такое русская кухня ＜日本語訳＞
22	ロシアのビデオニュースの通訳 ＜日本語訳＞
23～24	第33課 テキスト Воспоминания о Красной площади ＜日本語訳＞
25	ロシアのビデオニュースの通訳 ＜日本語訳＞
26～27	第34課 テキスト Япония в России ＜日本語訳＞
28	ロシアのビデオニュースの通訳 ＜日本語訳＞
29	第35課 テキスト Жемчужина русской музыки – Пётр Чайковский ＜ロシア語訳＞
30	ロシアのビデオニュースの通訳 ＜日本語訳＞
<b>【後期】</b>	
1	ガイダンス
2～4	＜ロシア語訳＞ テキスト1 五木寛之「みみずくの夜メール」

5	小テスト1
6～9	<日本語訳> ロシアのビデオニュースの通訳
10～12	<ロシア語訳> テキスト2 三谷幸喜「三谷幸喜のありふれた生活」
13	小テスト2
14～17	<日本語訳> ロシアのビデオニュースの通訳
18～20	<ロシア語訳> テキスト3 森博嗣「正直に語る100の講義」
21	小テスト3
22～25	<日本語訳> ロシアのビデオニュースの通訳
26～28	<ロシア語訳> テキスト4 五木寛之「みみずくの夜メール」
29	小テスト4
30～33	<日本語訳> ロシアのビデオニュースの通訳
34～36	<ロシア語訳> テキスト5 三谷幸喜「三谷幸喜のありふれた生活」
37	小テスト5
38～40	<日本語訳> ロシアのビデオニュースの通訳
教科書・参考書・資料・参考文献	
イリイン・セルゲイ著“Практика перевода (通訳・翻訳演習)”。極東連邦大学函館校発行、2016年。	
五木寛之「みみずくの夜メール」朝日新聞社、2003年	
三谷幸喜「三谷幸喜のありふれた生活」朝日新聞社、2006年	
森博嗣「正直に語る100の講義」大和書房、2016年、そのほかビデオ、プリント類	



科目名	英語	担当教員	ウィリアムズ・マイケル
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	4年
開講期	前期（15週）・後期（20週）		
時間数	前期60時間（週2コマ）・後期80時間（週2コマ）総140時間		
授業概要・学習到達目標			
<p>コースの目的は、英語のテキストを読み、理解し、さらに話し書く技能の基礎を修得し、様々な状況に応じて英語での意思疎通を可能にすることにある。従って学生は、①アメリカ英語とイギリス英語を聞いて理解する。②一般科学、ビジネス等のテキストを読む。③日常、社会、一般科学、ビジネス等のテーマについて話す。④ビジネス関連の手紙を書く。⑤社会、一般科学、ビジネス等のテーマについての文章を書く等の技能の習得を目指す。</p>			
評価方法			
small tests and exams, assignment submissions, participation in class, and attendance			

授業計画・内容	
【前期】	
1~5	Module 1: World of work, Personal and professional details, Reading short texts
6~10	Module 2: Work in progress, Making arrangements, Writing internal communications
11~15	Module 3: Company biography, Company performance, Listening: Short extracts
16~20	Module 4: International business, Business communications, Speaking:
21~24	Module 5: Career choices, Achievements and plans, Reading: Matching
25~29	Module 6: Business Travel, Travel arrangements, Writing: Internal communications
30	テスト
【後期】	
1~6	Module 7: Products and services, Orders and contracts, Listening: Telephone conversations
7~13	Module 8: Manufacturing processes, Problems and solutions, Giving a short talk, Discussion
14~20	Module 9: The future, Meetings, Reading: Scanning
21~26	Module 10: Career development, Organizing a conference, Writing: Letters and emails
27~31	Module 11: Health and safety, Reporting accidents, Listening: Building vocabulary
32~39	Module 12: The job market, Job applications, Reading: Sentence structure
40	テスト
教科書・参考書・資料・参考文献	
Total Business 1, Rolf Cook/Mara Pedretti, Cengage (Summertown Publishing), 2009	

科目名	ロシア文学史	担当教員	スレイメノヴァ・アイーダ
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（15週）		
時間数	前期30時間（週1コマ）	総30時間	
授業概要・学習到達目標			
<p><b>19世紀後期のロシア文学のピーク、20世紀前半の文学（詩と小説）</b></p> <p>ロシア文学の社会諸問題への関心、国民性、知識人の使命、作家の受難、ロシア人の文学への信頼などに注意の重点を置く。授業は教科書（PDF ファイルの電子資料；プリント）に沿って進めるので教科書（プリント）を必ずもってくる。授業で積極的な態度を表すこと。授業の最後にメモを書くこと。習ったことを自宅で少しでも復習すること。</p>			
評価方法			
<p>試験、小テスト、宿題（Google Forms）の結果と出席率、授業中の態度、提出物などの項目を評価に含んだ総合評価形とする。合格点は60点以上である。各期の評価はテスト20%と試験80%の割合とする。</p>			

授業計画・内容	
<b>【前期】</b>	
1-2	19世紀末～20世紀の詩壇。象徴主義（ブロークの作品）
3-5	アクメイズム（グミリョーフ、アフマートワ、マンデリシタム）；ツヴェターエワの作品
6-7	ロシアのアバンギャルド。未来派（フチュリズム）。マヤコフスキー（『ズボンをはいた雲』、『これについて』）、ブルリューク、フレーブにコフ。
8	農民の詩。エセーニン。
9-11	20世紀の小説。ブルガーコフの人生と作品。『白軍』、『巨匠とマルガリータ』、『犬の心臓』
12	社会主義的なリアリズムと批判的な文学。ノーベル賞とロシアの作家。ショーロホフの『静かなるドン』。
13	亡命人の文学。プーニン、ナボコフの作品。
14-15	パステルナークの人生と作品。若い時代の詩；『ドクトル・ジバゴ』。
教科書・参考書・資料・参考文献	
各著者の原作からの抜粋（PDF ファイルの電子資料；プレゼンテーション；随時プリント類）	

科目名	哲学	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（16週）		
時間数	前期32時間（週1コマ） 総32時間		
授業概要・学習到達目標			
①教養としての「哲学」を身に着ける。 ②ロシア・ソヴィエト時代の哲学・思想を知り、ロシア・ロシア人に対する理解度を深める。 ③「哲学」を学ぶ今日的意味を考える。			
評価方法			
出席（30%）授業態度（20%）試験（50%）			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス
2	教養としての哲学 ①哲学の始まり、創成期の哲学
3	教養としての哲学 ②古代哲学：古代ギリシア人の精神
4	教養としての哲学 ③古代哲学：アテナイ期の哲学
5	教養としての哲学 ④中世哲学：キリスト教とスコラ哲学
6	教養としての哲学 ④近世哲学：17世紀の哲学（デカルト）から啓蒙時代の哲学（ライプニッツ）へ
7	教養としての哲学 ⑤カント
8	教養としての哲学 ⑥ヘーゲル
9	18世紀のロシアの思想①フリーメイソン、ラジーシェフ
10	19世紀のロシアの思想② スラヴ派
11	19世紀のロシアの思想③ 西欧派、革命的民主主義思想
12	ロシアにおけるナロードニキ、ナロードニキと日本
13	ユーラシア主義、道標派、インテリゲンツィア、建神主義
14	ソヴィエト時代の哲学の確立と普及
15	哲学の今日的解釈、哲学を学ぶ意義を考える
16	復習、まとめ
教科書・参考書・資料・参考文献	
プリント配布（随時）。	

科目名	体育	担当教員	小林 礼
学 科	ロシア語科・ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（16週）、後期（20週）		
時間数	前期32時間（週1コマ）、後期40時間（週1コマ） 総72時間		
授業概要・学習到達目標			
運動することの楽しさや喜びを味わうとともに、生涯にわたる豊かなスポーツライフ「する。見る。支える。知る」を実現する能力を育成するとともに、健康で過ごすための運動の必要性を知り、その解決を図る主体性・協働的な学びを通して、公正・責任・安全・判断・人間性等を育成する。			
評価方法			
出席（50%）授業態度（40%）試験（10%）			

授業計画・内容			
【前期】		【後期】	
1	オリエンテーション	1-2	体づくり運動⑥ 体力を高める運動 縄跳び
2	体づくり運動① 体ほぐし運動	3-4	体づくり運動⑦ 体力を高める運動 ウォーキング
3	体づくり運動② 体力をほぐし運動	5-8	球技：卓球 ネット型①～④
4	体づくり運動③ 体力を高める運動 登山	9-11	球技：バスケットボール①～③
5	体づくり運動④ 体力を高める運動 ウォーキング	12	体づくり運動⑧ 体力を高める運動 縄跳び
6-7	マット運動①～② 器械運動	13-15	球技：サッカー①～③ ボールコントロール
8-10	球技 ネット型：バドミントン①～③	16-18	球技：バレーボール①～③
11	体力測定	19	まとめ
12-14	球技 ネット型：バドミントン④～⑥	20	実技試験
15	体づくり運動⑤ ウォーキング		
16	実技試験		
教科書・参考書・資料・参考文献			
使用しない			

科目名	ゼミナール ビジネスロシア語	担当教員	プラーソル・アレクサンドル
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（15週）、後期（20週）		
時間数	前期30時間（週1コマ）、後期40時間（週1コマ） 総70時間		
授業概要・学習到達目標			
ビジネスロシア語の翻訳・通訳することが出来る水準に達するための練習。 授業は教科書に沿って進めるので教科書を必ず持ってくること。授業で積極的な態度を表すこと。 習ったことを自宅で少しでも復習すること。			
評価方法			
試験、小テスト、出席率、授業態度、提出物全ての総合評価で判断する。			

授業計画・内容			
【前期】		【後期】	
1	ビジネス連絡とは	1	ビジネス旅行 1
2	ビジネス連絡の方法	2	ビジネス旅行 2
3	ビジネス連絡書の特徴	3	ビジネス旅行 3
4	ビジネス連絡書の例	4	ビジネス旅行 4
5	ビジネス文書の種類 1 保証書	5	ロシアへの輸出 1
6	ビジネス文書の種類 2 ビジネス・オファー	6	ロシアへの輸出 2
7	ビジネス文書の種類 3 カバーレター	7	日本製中古車の輸出 1
8	ビジネス文書の種類 4 確認書	8	日本製中古車の輸出 2
9	ビジネス文書の種類 5 要求書	9	電気製品の輸出 1
10	ビジネス文書の種類 6 クレーム報告書	10	電気製品の輸出 2
11	ビジネス文書の種類 7 招待状	11	ロシアからの輸入 1
12	ビジネス文書の種類 8 督促状	12	ロシアからの輸入 2
13	株式会社の種類 1 ОАО	13	木材輸入 1
14	株式会社の種類 2 ЗАО	14	木材輸入 2
15	株式会社の種類 3 ПАО	15	農産物の輸入 1
		16	農産物の輸入 2
		17	天然資源の輸入 1
		18	天然資源の輸入 2
		19	天然資源の輸入 3
		20	天然資源の輸入 4
教科書・参考書・資料・参考文献			
特定の教科書を使用せず、教員が用意したプリントを配布する。			

科目名	論文作成（前・後期）	担当教員	倉田 有佳
学 科	ロシア地域学科	学 年	第4学年
開講期	前期（8週）・後期（20週）		
時間数	前期16時間（全8回） 後期80時間（週1コマ） 総96時間		
授業概要・学習到達目標			
卒業論文作成を最終目標とし、それに向けて、問題設定・課題の解決方法を学び、論理的思考に基づき論文を完成させる。論文執筆の過程で、資料収集方法、課題解決能力やプレゼンテーション能力を身に付ける。			
評価方法			
出席（30%）卒業論文（40%）卒業論文プレゼンテーション（30%）			

授業計画・内容	
【前期】	
1	ガイダンス（各自学年論文持参）、卒業論文テーマの検討
2	卒業論文テーマの検討、参考文献の調査
3	先行研究の調査、文献目録の作成について（ガイダンス）
4	文献目録作成
5	卒業論文テーマ決定、提出
6	序文・本文・脚注・参考文献作成（ガイダンス）
7	中間発表準備
8	中間発表
【後期】	
1	夏休みの成果発表、論文中間発表会、学生同士で評価を行い、授業終了後、指導教官に進捗状況を報告
2	指導教官の助言をフィードバック
3	目次作成・完成（授業終了後、指導教官に初稿を提出）
4	目次（指導教官から指摘を受けた点を訂正・加筆）
5-9	論文作成
10	論文の体裁を整える（表紙・ページ打ち・脚注・参考文献一覧の作成）
11	授業終了後、指導教官に初稿を提出
12	指導教官から指摘を受けた点を訂正・加筆
13	卒論総仕上げ（表紙・ページ打ち・脚注の点検）
14	卒論総仕上げ（参考文献・表や図の点検）
15	授業終了後、事務局経由で指導教官にデータで卒論提出
16	指導教官からの指導を受け、指摘を受けた点を訂正・加筆
17	最終修正し、授業終了後、事務局に完成版をデータで提出
18	卒業論文審査会（3月）の発表準備
19	卒業論文審査会（3月）の発表準備
20	序文のロシア語作成
教科書・参考書・資料・参考文献	
使用しない	